夏服の少女たち　～ヒロシマ・昭和２０年８月６日（1988）

メディア TV　アニメ
ジャンル ドキュメンタリー　ドラマ　青春
製作国 日本
色彩 B&W/C
1988/08/07 ～
TV放映 日曜日
NHK総合

【解説】
　第二次世界大戦末期、広島市に投下された原爆による悲劇を描く、実写ドキュメント映像と組み合わされた特番アニメーション。その年、8月6日を控えたある夏の日。風呂敷包みを抱えた老夫婦が、広島市原爆資料館を訪れる。包みの中には夫婦が長い間、娘の形見として守り続けた、丁寧に畳まれた、高熱でボロボロになった女学生の夏用の制服が入っていた。そして回想される昭和20年の広島市。国内の戦禍がさらに現実味を増す夏、県立第一高等学校の二年生と三年生は工場動員に、残っ二年生220人は建物疎開作業に従事していた。そしてあの悲劇の日が……。被爆体験者・大野充子の実体験をまとめた記録「夏服の少女たち～広島・昭和20年8月6日」（ポプラ社）が原作。NHKの特番「NHK特集」の中で、遺族の談話を綴るドキュメンタリー映像と、当時の実話をもとにしたアニメパートで放映された。アニメの制作はマッドハウスが担当。

【クレジット】

アニメーション演出	平田敏夫	
アニメーション制作	マッドハウス	
制作	渡辺忠美	
	丸山正雄	
原作	大野允子	（「夏服の少女たち一広島・昭和20年8月6日」ポプラ社）
脚本	内館牧子	
キャラクターデザイン	百瀬義行	
作画監督	百瀬義行	
美術監督	男鹿和雄	
音楽	小野崎孝輔	
語り	石野倬	
出演	杉浦圭子	
声の出演	濱田真帆	
	藤重すみれ	
	大目弘美	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.